



## 長寿ヶ丘に山の神を祀る鳥居が完成

ツツジやサクラの名所として知られる狩尾地区の長寿ヶ丘公苑に、古くから祀られる「山の神」に、立派な鳥居が建設されました。農耕振興の神「山の神」は大昔から狩りが盛んだった狩尾地区の地域の宝。これを後世へ守り継ごうと、狩尾2・3区（下田代、甲水、上方、下村）の氏子からなる山の神管理組合（坂梨和男組合長）の皆さんが、周囲を整備し鳥居を建てられもので、4月15日、山の神の祭りの日に合わせ、竣工式が行われました。



▲県内有数のツツジの名所「長寿ヶ丘」

山の神は、大パノラマの眺望と、大株のツツジが山一面に彩る「長寿ヶ丘公苑」の駐車場のすぐ道向かいです。ぜひ、お立ち寄りください。



## 旧黒川東部保育園に「阿蘇きぼうの家」が移転



▲開所式で挨拶を述べる平理事長。

4月13日、旧黒川東部保育園に地域活動支援センター「阿蘇きぼうの家」の移転及び就労継続支援B型事業所「スマイルファミリー」の開所に伴い、利用者や関係者など約70名が参加し、開所式が行われました。

この2施設はNPO法人阿蘇きぼうの家（平武徳理事長）が運営を行うもので、障がいのある方への生活活動支援や、就労困難者に対する知識や能力向上のための訓練などを行います。

開所式では、今回新たに開所した「スマイルファミリー」の名称やデザインを提案した方への表彰も併せて行われました。

## 狩尾原野で牛の放牧始まる



▲放牧前の検査の様子。

狩尾牧野組合（鎌倉善光組合長）では、毎年、熊本県畜産農業組合による熊本型放牧畜産事業により、城南・城北地区の畜産農家からの牛の受け入れを行っており、4月20日、入牧式が行われ11戸、27頭の牛が放牧されました。

この事業は阿蘇の広大な放牧地を利用して、牧野の活性化と肉用牛の低コスト化を図るために平成8年から取り組まれているもので、狩尾原野と跡ヶ瀬原野で行われております。

入牧式後には、放牧牛の安全を祈願する神事が行われた後、同組合員と城北・城南地区の畜産農家、関係者との意見交換会が行われました。